

BelaVd C1

1コース期間: 21日
 所要時間: 2時間

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1	day2	day4	day5	day8	day9	day11	day12
1	生食 100mL デキサメタゾン 16.5mg		div	200mL/hr	30分	○							
2	生食 100ml ※1 ベランタマブ マホドチン 【 】mg 注射用水 【 】ml ※2 ※1 Bela200mgを超えた場合、生食250mLに変更 ※2 注射用水mL=ベランタマブ マホドチン÷50	2.5mg/kg	div	200mL/hr	30分	○							
3	生食 100mL		div	100mL/hr	1時間	○							
4	生食20mL 【 】mL ボルテゾミブ 【 】mg ★生食mL=ボルテゾミブmg÷2.5	1.3mg/kg	sc			○		○		○		○	
内服	デキサメタゾン内服	20mg/日	内服 分1 朝食後				○	○	○	○	○	○	○

コメント

【ベランタマブ マホドチン】

- ・本剤による治療において眼障害が発現する可能性があり、一部の眼障害は視力変化を伴わずに発現することがあるため 本剤の投与開始前に眼科医による診察を実施。眼科検査(視力検査及び細隙灯顕微鏡検査を含む)は「本剤の初回から4回目までの各投与前」に必ず実施し、「その後の投与期間中は必要に応じて」実施すること。
- ・ドライアイ等の眼症状を軽減するため、本剤投与中は防腐剤を含まない人工涙液(ソフトサンティア、なみだロートファイブ等)を1日4回以上投与。
- ・本剤の投与中(休薬期間中を含む)はコンタクトレンズの装着を避けるよう血液内科医が患者を指導。

【デキサメタゾン】

- ・75歳を超える、BMIが18.5kg/m²未満、糖質コルチコイド療法に関連する許容できない副作用の既往を有する、又はデキサメタゾンの開始用量に忍容性がない場合は、開始用量を10mgに減量可能。
- ・Day2.4.5.8.9.11.12のデキサメタゾンは原則経口投与。経口投与が困難な場合には点滴投与(点滴投与の場合、16.5mg)

【ボルテゾミブ】

- ・ベランタマブ マホドチン初回投与後1時間は経過観察行うため、ボルテゾミブはその後に投与すること。

BelaVd C2-8

1コース期間: 21日

所要時間: 1時間15分

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1	day2	day4	day5	day8	day9	day11	day12
1	生食 100mL デキサメタゾン 16.5mg		div	200mL/hr	30分	○							
2	生食 100ml ※1 ベランタマブ マホドチン 【 】mg 注射用水 【 】ml ※2 ※1 Bela200mgを超えた場合、生食250mLに変更 ※2 注射用水mL=ベランタマブ マホドチン÷50	2.5mg/kg	div	200mL/hr	30分	○							
3	生食 50mL		div	200mL/hr	15分	○							
4	生食20mL 【 】mL ボルテゾミブ 【 】mg ★生食mL=ボルテゾミブmg÷2.5	1.3mg/kg	sc			○		○		○		○	
内服	デキサメタゾン内服	20mg/日	内服 分1 朝食後				○	○	○	○	○	○	○

コメント

【ベランタマブ マホドチン】

- ・本剤による治療において眼障害が発現する可能性があり、一部の眼障害は視力変化を伴わずに発現することがあるため 本剤の投与開始前に眼科医による診察を実施。眼科検査(視力検査及び細隙灯顕微鏡検査を含む)は「本剤の初回から4回目までの各投与前」に必ず実施し、「その後の投与期間中は必要に応じて」実施すること。
- ・ドライアイ等の眼症状を軽減するため、本剤投与中は防腐剤を含まない人工涙液(ソフトサンティア、なみだロートファイブ等)を1日4回以上投与。
- ・本剤の投与中(休薬期間中を含む)はコンタクトレンズの装着を避けるよう血液内科医が患者を指導。

【デキサメタゾン】

- ・75歳を超える、BMIが18.5kg/m²未満、糖質コルチコイド療法に関連する許容できない副作用の既往を有する、又はデキサメタゾンの開始用量に忍容性がない場合は、開始用量を10mgに減量可能。
- ・Day2.4.5.8.9.11.12のデキサメタゾンは原則経口投与。経口投与が困難な場合には点滴投与(点滴投与の場合、16.5mg)

BelaVd C9以降

1コース期間: 21日

所要時間: 1時間

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1
1	生食 50mL		div	200mL/hr	15分	○
2	生食 100ml ※1 ベランタマブ マhodチン 【 】mg 注射用水 【 】ml ※2 ※1 Bela200mgを超えた場合、生食250mLに変更 ※2 注射用水mL=ベランタマブ マhodチン÷50	2.5mg/kg	div	200mL/hr	30分	○
3	生食 50mL		div	200mL/hr	15分	○

コメント

- ・本剤による治療において眼障害が発現する可能性があり、一部の眼障害は視力変化を伴わずに発現することがあるため 本剤の投与開始前に眼科医による診察を実施。眼科検査(視力検査及び細隙灯顕微鏡検査を含む)は「本剤の初回から4回目までの各投与前」に必ず実施し、「その後の投与期間中は必要に応じて」実施すること。
- ・ドライアイ等の眼症状を軽減するため、本剤投与中は防腐剤を含まない人工涙液(ソフトサンティア、なみだロートファイブ等)を1日4回以上投与。
- ・本剤の投与中(休薬期間中を含む)はコンタクトレンズの装着を避けるよう血液内科医が患者を指導。